

- ◆ 管内大学においては、地域を支える人材の育成や地元への学生の就職率アップに向けて「地方創生推進事業」を推進しており、その一環として、インターンシップ制度を採り入れ、実践しているところ。
- ◆ 四国財務局では、従前から講師派遣等を通じて地元大学との連携推進を図っているところであるが、更なる連携強化と地方創生に向けた取組を支援することを目的に、当局初の試みとして地元2大学（香川大学、高知大学）から実習生を受入。
- ◆ インターンシップに参加した学生からの反応は極めて良好。また、インターンシップの実施を契機に大学との連携を更に深め、平成29年4月から香川大学において寄附講座を実施することが決定。今後も、管内大学との連携を図りながら取組を継続していく。

### 1. 成果事例の概要等

○ **香川大学インターンシップ in四国財務局** 平成28年9月12日～16日(5日間)  
香川大学においては、地方創生推進事業の一環として、地域密着型インターンシップを実施。

当局は、地方創生推進事業への協力とともに、大学との連携強化、学生に財務局の業務に関心を持ってもらうといった観点から、同大学と協議を重ねた結果、3名の実習生の受入が実現。



災害査定現地実習の様相

インターンシップでは、財務局と地域との関わりについて深く関心を持ってもらうため、災害査定や国有財産の管理処分に係る現地実習、経済調査ヒアリングへの同行、地方創生支援に向けて活動している若手PTとのグループワークなど、体験型・参加型の実習を随所に採り入れて実施。

○ **高知大学インターンシップ in高知財務事務所** 29年2月13日～17日(5日間)

高知大学においては、高知を愛し地域を支える「地方創生推進士」を育成する教育プログラムを整備し、その一環として、社長インターンシップ（地域の経営者に密着）を実施。

当所は、同プログラムへの協力によって、大学との連携強化と同時に、学生に財務局・財務事務所の活動を広報し、関心を持ってもらうといった観点から、「高知財務事務所長1weekインターンシップ」として募集を行い、4名の実習生の受入が実現。



高知大学の募集パンフレット



企業訪問の様相

社長インターンシップの趣旨を踏まえ、同所所長が実施する企業訪問や現地視察に随行させるなど、実際の所長業務に1週間密着した実習により、まさに所長を体験。

### 2. これまでの取組の成果等

○ 講義形式の説明だけではなく、実際の災害現場での模擬査定、経済調査ヒアリングへの同行などの体験型の実習や、グループワークなどの参加型の実習、更には所長業務に密着した実習（高知）を採り入れたことで、参加した学生からは、「地域における財務局・財務事務所の役割について理解が深まった」、「トップの考えや業務への姿勢が直接学べて有益であった」といった声が聞かれるなど、反応は極めて良好。

○ また、地方創生支援に向けて活動している若手PTメンバーとのグループワークを通じて、地方創生に関する理解を深めるなど、大学が求める地方創生の人材育成にも寄与。

○ インターンシップの実施を契機として大学との連携を更に深め、平成29年4月から香川大学での寄附講座を開講することが決定。

講座名：地域財務金融行政 全15回

対象学部：法学部及び経済学部の3回生以上



若手PTとのグループワークの様相

学生は地域の将来を担う重要な人財。財務局・財務事務所としても大学が進める人材育成に貢献し、地方創生に向けた取組に積極的に協力していくことが重要

### 3. 今後の課題と四国財務局等の対応

#### ◀今後の課題▶

- 大学が求める人材の育成に寄与していくためにも、今後とも大学及び学生のニーズに応じた実習内容の充実が必要。
- 大学の求めと学生の要望のミスマッチの解消(多くの学生はリクルート活動、就業体験の一環として期待しており、大学の掲げる理想とは、若干かい離している。)

#### ◀四国財務局・財務事務所の今後の対応▶

- 今後も、地元各大学と連携を深めるとともに、地方創生支援の観点から大学が進める取組に積極的に協力していく。